

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20

中に草子

追々たゞまき余つねとく地
をぬけ取うちて
其のあまよ駒河先生

故人仕

毎一月三番はおみづに堵
物、又久汗部へ正月と
いふ不^レなる宿ち候ひ故て
都の草人中
信はる事年々^{アリ}士
革と敷き四毛劍^{アリ}有器
十数人可し草今四十餘
人自立して未だ独立生活
不能^{アリ}也不^{アリ}別室
嘆息^{アリ}り

近著経緯^{アリ}ハ本ほし
言ふ事多^{アリ}と云ひ且^{アリ}れ
多^{アリ}と云ひ且^{アリ}れ
收^{アリ}ておもひと云ひ^{アリ}て
此^{アリ}某書^{アリ}も請^{アリ}す
三千葉許^{アリ}折^{アリ}名白^{アリ}
内^{アリ}一^{アリ}と云ひ^{アリ}と書^{アリ}
立^{アリ}事^{アリ}甚^{アリ}脇中
待^{アリ}事^{アリ}甚^{アリ}待^{アリ}事^{アリ}
や^{アリ}衣食^{アリ}因^{アリ}て之^{アリ}
かく御奉^{アリ}も馬^{アリ}下^{アリ}事^{アリ}
未^{アリ}積^{アリ}事^{アリ}申^{アリ}て若手

近著経緯是事ハ奉致
言ル事々トシムシ又曰
シテタニモトシトセシ也
此ノ事書御も清早了
以テ某書御も清早了
三事許レ折角名白シ
尚シ一不ミ蓋レ七書封ル
文行シ事シ其代相中
種々意想ナリ少すゆゑ
丁度衣食、酒食などに之
ナク貰奉るを思ナリヨリ
朱権レ某所居申以て若手
故化國と高弟葛レ狂鬼
と惄れ又乞誓時革墨の間
候附了立行シキ、立行
辛度レ己ニテ^御立行
右詔レヒ知在上、文氏矣
熟レ但下松レ不被下行
之大人清用レ御度
之テ勿レ上拂うる存無
足サ松也正惶謹言

中江萬

大限取
内へ